



日本学術会議問題

■学術会議問題：105-6=99 という政治的「削減」？



10月、日本学術会議のメンバー任命に総理大臣が横やりを入れたために、ようやく開かれた菅総理大臣の最初の国会ではこのことがもっぱらの話題であった。10月30日夜TBSニュース番組で片山善博氏が「補助金を少し削るようなつもりで106人から99人にしたのだろう」「政治の権限をふりまわしたために、こんなに大騒ぎになってしまった」「こんなことになるとは思わなかったんでしょね」「想像力が足りない」などと舌鋒鋭く評していた。

■片山善博氏

北海道に通勤していたころに、勤務先の講演会で一度だけ、直接講演を拝聴したことがある。その時のお話では、氏の県知事時代、部下の説明を聞き、何やら質問した。そのとき、説明者の視線がふと泳いだのに気付いた氏はこれを見逃さず、説明内容にちょっとした瑕疵を見出した、というエピソードがあったと記憶する。主題は忘れたが、説明者の視線が宙を泳ぐ一瞬をとらえ突っ込む、という息をのむようなやりとりのお話には感服させられた。氏は、現在混乱中の菅政権学術会議問題について「説明できないものがある」と言った総理大臣の視線が宙を泳ぐさまをきっと見ておられたのではないかと推察する。

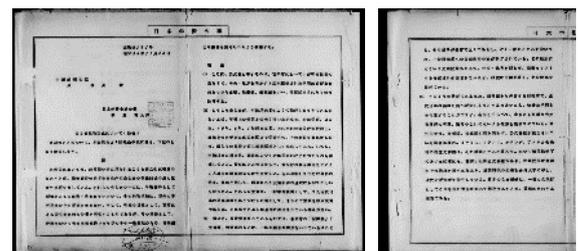
テレビで見た氏は不合理への鋭い感性と、その不合理をあらわにした当事者たる総理大臣の人物像をどこか面白がっているようにすら見える度量の人と見えた。憲法15条を持ち出し総理側が学術会議会員の任命権を行使できるという総理の説明は、15条全体としては不成立であることは自明（だから、不勉強な側近に騙されたかな）という解説は、実に説得力に富んでいた。番組では総理大臣の肩を持つ役割らしいキャスター石塚が「学術会議は学者の集団で、右でも左でも学問の自由というとすぐにまとまってしまうから、始末が悪い」と発言し、結果とし

て番組の品格を下げたようで、残念な印象。

■1959 学術会議「公文書散逸防止」勧告は日本の公文書館設置の礎

ところで、日本の公文書館設置の礎は、1959年の日本学術会議勧告であることは、20世紀中は良く知られていた。往時日本学術会議とは日本の貧弱な公文書管理状況を指摘し政府に国立公文書館の設置を勧告した立役者であって、公文書館にとっては産みの親の組織だ。1959年、昭和34年という時期に早くも日本の政府部内の公文書が歴史公文書としての価値を持つ可能性を指摘し、学術研究の立場から対応を求めたその見識に、その後の日本の公文書管理がどれほど助けられたのかは、アーカイブの一端に連なるものとして、声を大にして指摘しておきたい。1959年11月、時の日本学術会議会長兼重寛九郎が総理大臣あてに提出した『公文書散逸防止について（勧告）』が、1971年の国立公文書館設立につながった。これがなければ、現代日本の情報公開制度、公文書管理制度の整備など、今日の政府情報の基本的な管理体制の整備は見通せなかつたろう。

1959年11月28日公文書散逸防止勧告書（部分）



国立公文書館デジタル・アーカイブから引用

<https://www.digital.archives.go.jp/das/meta/M000000000001188725>

■菅総理大臣の見識と度量

このような活動を行ってきた日本学術会議に「総合的俯瞰的に」政治介入するという現総理の見識は、誠に狭量かつ不遜である。加えて「説明できない」と発言するに至っては、日本国の総理大臣の器でないことを自ら認めたも同然、政治家として失格である。（ち）

おもな内容

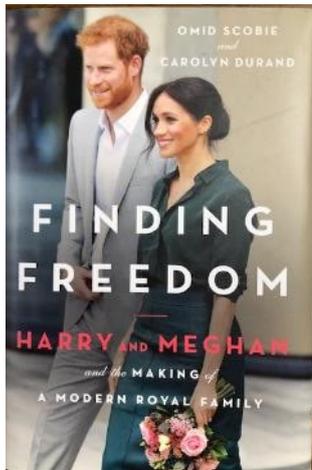
日本学術会議問題……………1
視点・終戦記念日 vs. 対日戦勝記念日……………2

DJIIレポート No.122 20201031

消息/やぶにらみ文献紹介/あしあと/活動……………3
巻末随想 松本市考古博物館/JICA 緒方研究所他……………4

【チヨコの視点】 終戦記念日 vs. 対日戦勝記念日

靴を脱いだ10歳のハリー王子に教えられた戦争終結と降伏文書



■ハリー&メガン『自由を求めて』

With コロナ時代？の昨今、これまでよりずっとたくさん、図書館を利用するだけでなく、結構本を買うようになった。先ごろ出版された、英国のハリー王子の『自由を求めて』も、ポチって入手。当たり前だけどこの本は英語だから、ちょっとタイヘン。手に取って

パラパラと開いた。

■写真ページが沢山ある！

なんと、ありがたいことに写真ページが沢山あった。ヘンリーさんとメガンさんお二人が子供の頃のものから最近のものまで、写真ページは10ページ以上。しかも、短い説明がある。読めそうだな。軽い気持ちで見ていると、ダイアナ妃と一緒にハリー王子の写真がある。おやおや、ハリーさんは靴を脱いでいる。

■写真の説明

説明には「母親や家族と共に対日戦勝記念パレードに参列するハリー王子、10歳、1995年8月19日、ロンドンモール」とある。あれ、英国の戦勝記念日は8月19日なのか。日本では8月15日が終戦の日だ。どうしてちがうのかしら。

■戦勝記念日は8月19日？

日本では終戦記念日は8月15日、戦没者追悼記念式典が開催される。1945年のこの日、昭和天皇が玉音放送で終戦の詔を読み上げ、人々はこれを聞いて戦争が終わったことを知った。そんなシーンは今も繰り返しテレビ画面で流される。だから、私は8月15日が第2次世界大戦の終戦記念日であり、日本の敗戦の日であると思い込んでいた。だがハリーの写真の説明は、日程が違う。

■英国には対日戦勝記念日がある！

もっと驚いたのは、対日戦勝記念日 Victory over Japan Day の存在、衝撃だった。確かに、日本が負けたのだから、相手国英国は戦争に勝利している。それは当たり前だ。その記念日が設けられていることも、当然だろう。そんな当たり前のことを思ってもみななかった自分の浅はかさに気付いた時はショックだった。戦争は敵と味方がいて、敵が負ければ味方は勝つ。日本が負けたら、連合国は勝ったのだ。英国は連合国の一員、対日戦勝記

念日があるのは当然である。

■英国の対日戦勝記念日は8月15日ではない

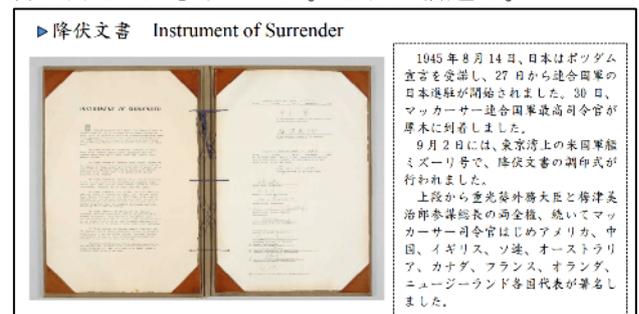
ところで日本では8月15日が終戦の日で、戦争に負けた日とされている。写真説明では英国の戦勝記念パレードは8月19日とある。なぜか。

戦争の終結の日付はどのように決まるのか、どのような手続きとか文書事務があるのか…。8月19日という日付をみて疑問がわいてきた。そこから、自分が戦争、とりわけ第2次世界大戦に関してはほとんど知識がないので勉強してみた。

■戦争の終結はどう決まる？

疑問①第2次世界大戦の終結は、どのように決まったのだろうか。疑問②戦争終結には何らかの事務手続きがあったのだろうか。

角川日本史辞典には「太平洋戦争とは、第二次世界大戦のうち、アジアでの日本と米・英・中など連合国との戦争を指す。1940年(昭和16)12月8日～1945年9月2日」「8月15日終戦の詔書を放送し、9月2日降伏文書に調印して、戦争は終結した。」とある。日本の外務省外交史料館は平成27年、この降伏文書の展示を行った。そのポスターは現在もHPに掲示がある。米国NARAは連合国の代表として降伏文書のもう一部を保管し、当日の調印式の写真もみえた。キャプションには9月2日東京湾内停泊中のミズーリ号上、とある。記録は1945年9月2日が戦争終結の日だと語っている。8月15日ではないし、ハリー王子が靴を脱いで列席した戦勝パレードの日付8月19日もなかった。これは宿題だ。



<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000094983.pdf> 外務省外交史料館 (20201031 確認)

■まとめ 2通の降伏文書の存在

戦争の終結は2通の降伏文書に戦勝者、敗戦者双方が調印(署名)したことで効力が生じる。それまでは、状況として負けたにしても、戦争状態が終結したことにはならないということだ。降伏文書は2通作成され、戦勝側、敗戦側がそれぞれ1通を保持し、その事実を共有する。日本の敗戦を証明するのは、この降伏文書である。その降伏文書は、2通ある。国内で保管する一通が失われても、もう一通の降伏文書は残る。戦争終結の記録は残り続ける仕組みだ。納得。(ち)

◇◆◇アーキビストの消息(順不同)◇◆◇【凡例:●個人■機関】

訃報

●長倉 美恵子氏(元東京学芸大学第二部学校教育学科図書館学分野教授、元実践女子大学学図書館学課程教授)10月19日逝去。享年87。葬儀は家族葬で執り行われた。謹んでご冥福をお祈りいたします。金沢工業大学の国際フォーラムなど多くの場面で類縁分野の先輩女子として親しくご厚誼賜ったことが思い出されます。合掌。

●大高 利夫氏(日外アソシエーツ株式会社前代表取締役社長)8月28日逝去。享年83。小規模によ

る大高氏と日外アソシエーツ社の合同葬が執り行われた。

国際資料研究所は、大高氏のご厚意で2003年単著『電子記録のアーカイビング』、2008年共著『アーカイブへのアクセス』の上梓に至りました。応援、ありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。合掌。

退職

●折田 悦郎氏 3月、九州大学を定年退職、4月、名誉教授。10月、九大鹿児島同窓会会長就任。

☆本コーナーへの皆様のご協力心からお礼申し上げます。(ち)

●やぶにらみ文献紹介●◆▼●◆●●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●◆▼●◆

■●東京大学文書館 Youtube

先ごろ、東京大学文書館の動画紹介プログラムが発足したという連絡をいただいた。所蔵資料と共に文書館の機能、総合図書館、五月祭の紹介が視られる。とても楽しくてわかりやすい。知人の登場もうれしい。21世紀の大学



文書館、普及活動はこうありたいと感じた。担当のユッコさんに花束🌸。

■映画『誰がハマーショルドを殺したか』

8月初め、若い友人がFBで紹介しているのを見つけ、早速鑑賞した。これは必見の作品と感じたので紹介する。昨今の息詰まる社会風潮の裏が見える感あり。コロナ禍の見え方が変わってくるかもしれない。コロナワクチンがニセモノかと不安を抱かせる。

予告編 [http://whokilled-h.com/\(20201101確認\)](http://whokilled-h.com/(20201101確認)) (ち)

●千代子のあしあと●◆▼●◆●●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●◆▼●◆

▼DJIレポートNo.122 20201031 2020年10月31日 up, 4p. PDF 国際資料研究所 www.djichiiyoko.com

■またいとこのブログ 放談 Tomoko&Chiyoko フランス在住のまたいとこ Tomoko とともに、時々話題を取り上げ「放談」のキャッチボールをするブログ。6/12 コロナ前後のウソ、ホント; 06/26 コロナのグローバル性に

ついて; 07/12 Chiyoko 自分史的に環境問題を振り返る; 07/26 オンライン終業式; 08/09 シュワサカサン; 08/23 酷暑のs 夏 三代で過ごすひと時; 9/6 いとこ会オンライン、9/20 紹介—岡マリの日英バイリンガル絵本『地球を救え!! グラニー・バムからのメッセージ』; 10/4 コガラと2匹の仔猫たち、10/18 コロナ禍で籠城、ペスト文学に親しむ (1) A.シュティフター『石さまさま』より『みかげ石』 <https://mataitoko.blogspot.com/>

DJI国際資料研究所の主な活動

2020年7月31日~2020年10月31日

<講演>

10月12日松本市役所職員向公文書管理研修講師

<出講>

10月20,27日 東京学芸大学 博物館資料保存論

<執筆>

またいとこのブログ執筆。08/09;シュワサカサン; 08/23 酷暑の夏 三代で過ごすひと時; 9/6 いとこ会オンライン、9/20 紹介—岡マリの日英バイリンガル絵本『地球を救え!! グラニー・バムからのメッセージ』; 10/4 コガラと2匹の仔猫たち; 10/18 コロナ禍で籠城、ペスト文学に親しむ (1) A.シュティフター『石さまさま』より『みかげ石』 <https://mataitoko.blogspot.com/>

10月31日 DJI レポート No.122 up; 国際資料研究所 www.djichiiyoko.com

<参加>

8月4-5日 信州アーカイブ紀行 with コロナ
8月22日、9月26日、10月24日 町内会役員会、総会 東海岸市民の家、藤沢
9月29日 図書館サポートフォーラム表彰式等
10月29日 Jica 図書館訪問

<見学>

8月4日 安曇野市文書館、臼井吉見文学館

8月5日 松本市文書館、松本市考古博物館

<映画鑑賞>

8月2日 『誰がハマーショルドを殺したか』イメージシアターフォーラム 渋谷

<お稽古ごと>

9月7,14,21,28日ラウラ先生とルーマニア語を学ぶ オンライン

<その他>

8月1日 zoom 湘南 BBQ 9名参加

8月6日 ひとみさんと zoom お茶会

8月22日、9月27日 いとこ会オンライン

9月11日 海外アーカイブ・ボランティアの会オンライン

9月28-29日 箱根対岳荘で静養

10月14日 東京学芸大学 ICT センターで、オンライン授業に向け PC 操作につき指導を受ける。

10月17日 旧交を温める会オンライン

10月28日 アーカイブお茶会オンライン

■ 巻末随想

◆松本市立考古博物館見学

8月、念願の松本市立考古博物館に立ち寄る機会を得た。松本市中山は、山に囲まれたちょっとした平地で、出土品が多いという。

もう20年も前からこの地に通っていたのに、初めて地元の博物館に到達した。あたりは田園風景



が広がり、都会のコロナ禍騒ぎからはかけ離れた静けさで、空気がおいしい。博物館内部には近隣から出土の土器の展示が多かった。建物の外には竪穴式住居があり、中に入れる。とても

楽しい博物館で、大満足した。

◆windows+shift+S オンライン授業の準備

10月下旬、大学の授業が始まることになった。今年はコロナの影響で、授業は全てオンラインで行う。学生諸君への負担軽減のため、ライブよりはオンデマンドの授業が求められた。技術的には多分何とかなる、と思っていたのだが、どうも勝手が違う。実は9月ごろから大学支給のオンライン授業準備マニュアルを見て準備しようと試みたものの、PCの扱いがどうも分からない。電話で大学のICTセンターに問い合わせても、やはり分からない。思い余って、PC持参で大学のICTセンターを訪ねた。訪問先では、至って丁寧にPCの操作方法を教えていただいた。中でも、表示画面を画像として一部分を切り取る裏ワザには感激！本項表題の通り、windows+shift+Sというキーボード操作で画面をコピー後切り取れる。PC画面

を示して話を進めるには、最高の裏ワザ。教示賜ったK氏は自慢げに含み笑いしておられた。大学のオンライン授業の陰には、こんなPC名人が存在することを知った。ICTセンター万歳！

◆JICA 緒方研究所

JICA 図書館を訪問する機会があった。この時一階のロビーにJICA 刊行物の展示と共に「Jica 緒方研究所」の展示パネルを見た。緒方とはもちろん昨年亡くなった元Jica 理事長の緒方貞子さんのことだ。以下JicaのHPを引用する。



JICA 緒方貞子平和開発研究所 (JICA 緒方研究所) は、2008年10月の研究所設立に尽力された故緒方貞子氏の理念を継承し、開発途上国が現場で直面する課題について政策志向の研究を行い、国際社会における日本の知的プレゼンスの強化を目指して取り組みます。

さらに、日本の開発経験や援助実施国としての知見を体系化し発信すると共に、国際秩序の変化、情報社会への転換、気候変動などの今日的な課題や脅威も踏まえて、研究・発信活動のさらなる充実に努めます。これらを通じて、世界をリードする開発・国際協力研究の拠点となることを目指します。そのために、以下のビジョンと基本方針を定めています。

ビジョン

平和と開発のための実践的知識の共創 (Co-Creating Practical Knowledge for Peace and Development)

世界の平和と開発のために、さまざまなパートナーと共に、現場重視の視点をもって質の高い研究を行い、政策インパクトのある発信をしていきます。

研究の基本方針

- 1) 国際的な学術水準の研究を行い、積極的に発信する。
- 2) 現場で得られた知見を分析・総合し、事業にフィードバックする。
- 3) 人間の安全保障の実現に貢献する。

以上の方針のもと、変化する国際社会に対応し、持続可能な開発目標 (SDGs) の戦略的推進や新たな開発課題に関する研究に果敢に挑戦します。また、JICA 開発大学院連携事業の一翼を担う機関として同事業を推進し、日本が培った経験を積極的に発信します。併せて人材育成の機能と研究交流の拠点としての機能を一層強化します。

グローバル化や企業活動の拡大、技術革新が進む一方で、格差の拡大、パワーバランスの変化による地政学的緊張の高まり、気候変動や人口動態変化など、世界や開発途上国が直面する課題はますます多様化・複雑化しています。今日的な視点で人間の安全保障の実現に向けて、イノベティブな発想をもって取り組み、領域をまたがる研究や外部機関との知の

コラボレーションを積極的に進めていきます。

UNHCR アーカイブと国際資料研究所とのかかわりはすでに10年以上、緒方貞子さんは常にそのかかわりの支えであった。こうしたご縁に感謝し、JICA 緒方研究所の発展を大いに期待する。(ち)

Documenting Japan International Report 国際資料研究所報  ←電子バージョンのマーク ISSN 1342-632X

DJILレポート DJIホームページ: <http://www.djichiyoko.com> No. 122 20201031

発行所: 国際資料研究所 Documenting Japan International Email: djiarchiv@yahoo.co.jp 代表 小川 千代子
〒251-0045 神奈川県藤沢市辻堂東海岸3-8-24 phone 0466-31-5061 fax 0466-33-8535